

## 第 2 回「日本語能力判定のテストー養成講座」 2020 年 9 月 11 日

### ふりかえりシート まとめ

【参加者】 27 人 ※スタッフ 4 人（県多文化共生課 2 人、県国際交流協会協会 2 人）を含まない。  
 （内訳）日本語支援者 22 人（磐田市関係 10 人、菊川市関係 10 人、その他 2 人）  
 国際交流協会スタッフ 1 人（磐田国際交流協会 1 人）  
 行政職員 4 人（磐田市 1 人、菊川市 1 人、牧之原市 1 人、袋井市 1 人）

【回収数】 27 枚

#### 【1】講座の内容はいかがでしたか。

	よかった 5	4	3	2	よくなかった 1
〈集計〉	17 人	9 人	1 人	0 人	0 人
〈理由〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス分けは、いちばん大切なところであり明確な基準を提示していただけた。</li> <li>・ テスターの第一歩をふみ出せた。</li> <li>・ 日本語サロンのコーディネーターをしています。学習者の振り分け（クラス分け）が良く理解できた。</li> <li>・ 以前から名前は知っていましたが、今回初めて具体的に学ぶことができてよかった。</li> <li>・ 判定の方法が細かく決められていて、資料を見ながらできそうだった。</li> <li>・ 受講者のレベルチェックの具体的な方法がわかり勉強になった。</li> <li>・ 詳しい資料があり、全体像が分かって良かった。</li> <li>・ 実際に行うことをイメージしやすかった。</li> <li>・ とよたシステムの概要がわかった。</li> <li>・ 能力判定をした経験がありませんでしたので、とても勉強になりました。</li> <li>・ 直に、使用している資料をもとに、全体→具体例とわかりやすく、又、ゆっくり話していただき、理解しやすかった。</li> <li>・ 講座の進むスピードが適当。資料がわかりやすかった。</li> <li>・ とよた日本語能力判定の背景や判定内容などがよく理解できた。</li> <li>・ レベルテストのやり方がよくわかった。</li> </ul>				

#### 【2】内容はわかりやすかったですか。

	わかりやすかった 5	4	3	2	わかりにくかった 1
〈集計〉	17 人	8 人	2 人	0 人	0 人

### 〈理由〉

- ・とても話し方がうまい。びっくりした。
- ・実際にやりながら学べたので様子がつかめた。
- ・素人にわかりやすくかみくだいて説明いただいた。講師の話すスピードをもう少し速くしてほしい。
- ・講師の先生の話し方がわかりやすかった。
- ・ゆっくり、ていねいな説明だった。資料が少しさがしにくいときがあったが。
- ・千葉先生の説明で、より理解できました。
- ・動画で具体例で示してもらって良かった。
- ・具体的な質問があるため、テストがしやすいと思いました。
- ・資料がわかりやすかった。
- ・マニュアル？があるため、未経験でも順序がわかりやすかったです。
- ・具体例など豊富にとり入れてわかりやすかった。
- ・説明がわかりやすい。動画があって、具体的に何をどうやってやるのかがわかった。
- ・ZOOM 参加でしたが画面共有などで理解しやすかった。
- ・実際の映像がわかりやすかった。
- ・資料が多い。

### ●気づいたこと、感じたこと

#### 〈磐田市関係者〉

- ・誰にでも（初期レベルの学習者の）テスターになれるほどに、具体的に詳細にマニュアル化されている。（足立進一郎：（一社）磐田国際交流協会）
- ・テスト判定ができるのか心配でしたが、細かく、内容が書かれており、それにそってやっていけば、できることがわかり、安心しました。少しずつ慣れていきたいと思います。（渥美久美子：（一社）磐田国際交流協会）
- ・資料が順番通りに一つにまとまっているとわかりやすかった。日本語教室に初回参加者に対しての接し方がわかった。（氏原初美：（一社）磐田国際交流協会）
- ・よく作られた判定だと思いました。（大庭満美子：（一社）磐田国際交流協会）
- ・相互理解・歩みより必要。一般の日本人のマインドセットが課題。（小山梨沙：（一社）磐田国際交流協会）
- ・対象となる学習者のレベルは初歩的である。（澤野孝光：（一社）磐田国際交流協会）
- ・ここで書ききれないことが多いので、あとで事務局経由でかかせてください。（坪田淳一：（一社）磐田国際交流協会）
- ・ていねいな説明ありがとうございました。難しい内容でしたができた背景など教えてもらって理解が深まった。（藤村克英：（一社）磐田国際交流協会）
- ・初めに、『とよた日本語能力判定』の存在を知りませんでした。今回の講座を聞き、とよた日本語能力判定レベルの2『要支援段階』より下の方に対して中心的に日本語教室やクラスを開催するお手伝いをしていると聞いて、的を絞っているというか、やはり日本語教室を開くにしても全員の要望を聞くのは難しくそこに悩んでいましたがこんなやり方もあるのだととても勉強になりました。判定をすることにより学習者の得意不得意がわかり闇雲に学習するよりいいと思いました。（松浦祐子：（一社）磐田国際交流協会）
- ・テスターの内容は理解できたが、実践となるとなかなか難しいと感じた。（村井智和：磐田市

#### 地域づくり応援課)

・何年か前にとよたシステムのテスト養成講座を受けさせていただいたので、今日のお話を聞きながら、内容再確認いたしました。とてもわかりやすくお話しいただいて、勉強になりました。ありがとうございました。(川添裕子：(一社) 磐田国際交流協会)

#### 〈菊川市関係者〉

・テストしている時には支援の時のようなゆっくりな話し方ではないこと。テスト中、にこやかに！はとても大切だと感じました。少しでもお役に立ちたいと、今日改めて感じました。持ち帰り、おさらいします。(太田理恵)

・運営が難しい日本語教室では、学習者の選別が重要になると思うので、能力判定は身につけるべきものと改めて実感しました。慣れもあるかと思いますが、正しく判定のできるテストの養成も必要だと思いました。(坂部果歩：虹の架け橋菊川小笠教室)

・テストの質問の仕方や、その時リラックスした感じで最後までできるだろうか、と少し心配になった。日本語がよく理解できない方にも少、しずつ成果を実感できるのは良いと思いました。しかし、日本語教室で実際やっていくのは少したいへんかな？という気もしました。(下川恭子：袋井国際交流協会)

・テストの勉強は初めてで、とても緊張しました。でもとても役立つことだとわかりました。(鈴木耕二：菊川市国際交流協会)

・現在行っている日本語サロンの新規者にも活用してみたいと思いました。(2 レベル以上の人も含めて)(本多純代：袋井国際交流協会)

・大変勉強になりました。配布された資料を読みながら理解するのが大変でした。可能であれば、事前に配布されればありがたいのですが…。(松下彰：菊川市国際交流協会)

・子どもの DLA 同様、大人にもわかりやすい判定方法があるのは、初期支援をするにあたって助かります。虹のかけはしにきた保護者に実施して、「保護者クラス」を作るのも有りかなと思いました。(望月香：虹の架け橋菊川小笠教室)

・話す、読む、書く…それぞれにレベルの差がある場合の判定はむずかしいと感じた。(渡邊由美子：袋井国際交流協会)

・インタビュータスクでは相手のレベルにあわせて、ゆっくり話してしまうことが多く、練習の必要があると思いました。(萩山美稀：菊川市地域支援課)

#### 〈近隣市町関係者〉

・日本語を(クラスなどを)決定するときに必要なスキルなど、くわしく説明していただき、細かなたしかめを学習できてよかったです。ありがとうございました。(鷺坂京子：ソヒゾ・デ・クリアンサ)

・とくに 0 レベルの人をテストする際は、テストの能力が問われると感じました。すごく作り込まれているテストで判定にはとても有効だと感じました。(田中美紗子：牧之原市役所企画制作部情報交流課)

### ●よくわからなかったこと、疑問に思ったこと

#### 〈磐田市関係者〉

- ・クラスが「読み・書き」クラスをもたない（もてない）日本語教室がある。その場合へのアドバイスをいただきたい。（足立進一郎：（一社）磐田国際交流協会）
- ・日本語学習の対象外にならないように故意に低レベルにするようにする学習者はいないのか、疑問に残りました。（大庭満美子：（一社）磐田国際交流協会）
- ・実技練習が必要。（小山梨沙：（一社）磐田国際交流協会）
- ・対話ができる程度の日本語運用能力がある学習者はレベル 0～1 を超えているため、対象に含まれないのではと思う。（澤野孝光：（一社）磐田国際交流協会）
- ・判定テストの中の『仕事に時間』を聞くときなどは少し難しいかなと思いました。特に仕事を  
してない人には『旦那さんの仕事の時間を聞く』とお話しされていましたが、旦那さんがいな  
い、「旦那さん」という単語がわからないと自然と判定が「0」になってしまうのかなと。テス  
ター側もそれなりの質問を考えておかないといけないと思いました。受験者が主婦、学生、仕事  
についてない人など、それぞれについてテストは練習が必要だなと感じました。（松浦祐子：  
（一社）磐田国際交流協会）
- ・随時募集で学習者を集める場合、テスト判定は毎回必要となるのか？（村井智和：磐田市地  
域づくり応援課）

#### 〈菊川市関係者〉

- ・まだ理解できていないことも多いので、これからやって行きたいです。宜しく願い致します。（鈴木耕二：菊川市国際交流協会）
- ・活動途中で、複数の新規参加者が来た時の為に、テストメンバーが活動メンバーとは別に、  
待機しているのでしょうか。（テスト講座自体についてではないのですが…）（高山晃：袋井国  
際交流協会）

#### 〈近隣市町関係者〉

- ・“聞く・話す”タスクで全く通じない受験者に対しても“ロールプレイ”“絵を見て話す”タスクは  
必ず実施するのか？（絵を見て話すの指示も理解できない状況）（田中美紗子：牧之原市役所企  
画制作部情報交流課）